

【考え方】

- 運用面における基準として、どの日のどの時間帯において、医療機関が、該当する医療機能を提供できるのか(できないのか)、いわゆる救急カレンダーを策定してはどうか。
地域として重複している時間帯や不足している時間帯を調整し、継続性のある救急体制を構築してはどうか。
- 症状が複数ある場合には、重症度・緊急度「高」の症状を優先して、搬送先を選定。
- 傷病者の状況から適応医療機関に搬送するだけの時間的猶予がない場合には、【1】・【2】以外の医療機関を一時的に選択することを考慮。
- 重症度・緊急度が「高」ではない場合は、救急業務上の支障の有無を勘案し、可能な範囲で、「診療を受けている医療機関」を選定。